

# KiKō

Vol.8

2023.3

Topics

## 令和4年度報告書のご案内 「食品ロス研究会」メンバー座談会 令和5年度の調査研究テーマ

テーマ

「ゼロカーボンシティ特別区」  
に向けた取組み  
(葛飾区提案)

テーマ

タワーマンション等  
大規模集合住宅を含む  
地域コミュニティの醸成  
(中央区提案)

テーマ

水害時の避難及び  
共同住宅の機能強化  
(江東区提案)

テーマ

循環型経済の推進による  
持続可能な経済発展に向けて、  
特別区が取り組むべき施策  
(世田谷区提案)

テーマ

特別区におけるDXの推進  
～データの取得・分析・活用  
に向けて～  
(板橋区・葛飾区提案)

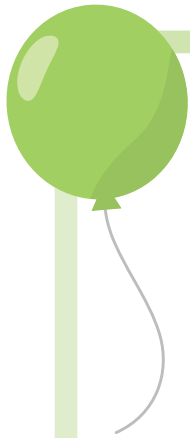
テーマ

特別区の未来を見据えた  
子育て支援  
(港区提案)



# 令和4年度報告書のご案内

令和4年度1年間の研究成果として、次の6テーマの調査研究報告書を特別区長会調査研究機構ホームページに掲載しています。



## テーマ

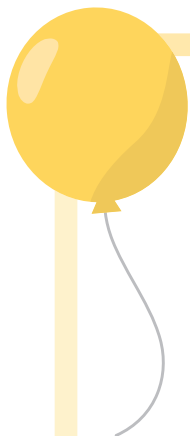
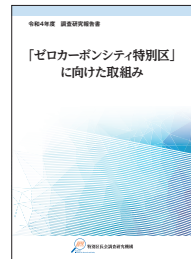
「ゼロカーボンシティ特別区」に向けた取組み  
(葛飾区提案)

## 参加区

葛飾区、千代田区、新宿区、江東区、渋谷区、中野区、豊島区、  
北区、荒川区、足立区、江戸川区、東京二十三区清掃一部事務組合

## 概要

令和3年度の研究成果を踏まえ、カーボンニュートラルの実現を、23区の連携により効果的に進めるため、4つの連携方策を示すとともに具体的な行動につなげる取組みを提言しています。



## テーマ

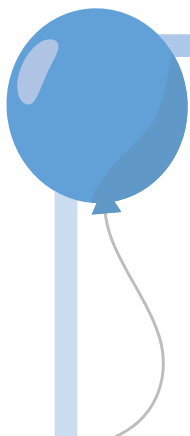
タワーマンション等大規模集合住宅を含む地域コミュニティの醸成  
(中央区提案)

## 参加区

中央区、台東区、品川区、世田谷区

## 概要

23区へのヒアリング調査やエリアマネジメント等へのフィールドワーク調査、住民への意識調査を通じて、特別区におけるタワーマンション等大規模集合住宅を含む地域コミュニティの醸成に向けた現状と課題を整理し、施策の方向性と具体的な取組みのポイントを示しています。



## テーマ

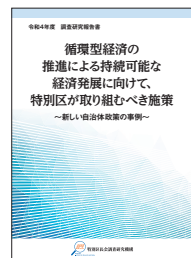
循環型経済の推進による持続可能な経済発展に向けて、  
特別区が取り組むべき施策～新しい自治体産業政策の事例～  
(世田谷区提案)

## 参加区

世田谷区、墨田区、江戸川区

## 概要

自治体や民間団体へアンケート調査・ヒアリング調査を実施し、特に産業振興部門におけるプラットフォームやプラットフォーム・ビルダーの果たす役割等に焦点を当て、自治体の新しい産業政策の事例とその意義について明らかにしています。



特別区長会調査研究機構ホームページ  
<https://www.tokyo23-kuchokai-kiko.jp/index.html>



### テーマ

水害時の避難及び共同住宅の機能強化  
 (江東区提案)

### 参加区

江東区、中央区、文京区、世田谷区、板橋区

### 概要

住民への意識調査、共同住宅の管理組合・所有者へのアンケート調査、各事業者（交通、通信、電気・ガス・水道、建設）へのヒアリング調査を行い、各調査の実施結果に基づき、水害時の避難のあり方、共同住宅の機能強化策について提言しています。



### テーマ

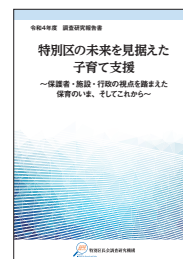
特別区の未来を見据えた子育て支援  
 ～保護者・施設・行政の視点を踏まえた保育のいま、そしてこれから～  
 (港区提案)

### 参加区

港区、文京区、荒川区、江戸川区

### 概要

保育施設の量的拡大から保育の質への転換に向けて、保育を取り巻く環境の動向変化や就学前児童を持つ保護者のニーズを調査し、今後解消すべき課題に対する重点対応方策を提言しています。



### テーマ

特別区におけるDXの推進～データの取得・分析・活用に向けて～  
 (板橋区・葛飾区提案)

### 参加区

板橋区、葛飾区、文京区、台東区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区、豊島区、北区

### 概要

特別区において今後「データの利活用」を進めていくにあたり必要な事項や考え方について、①課題・目的の明確化、②実施体制の構築、③専門的な人材の育成、④データ利用にあたっての留意、⑤DXの視点に基づくデータ活用、に整理し提言しています。



# ❖ R3年度「食ロス研究会」メンバーに聞いてみました!

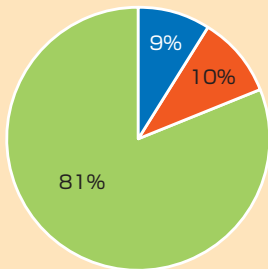
令和3年度「食品ロス削減に向けたナッジをはじめとする行動変容策」研究会のメンバーに、研究会での経験についてお話をいただきました。

## コラム1 組成調査の結果



荒川区施設で実施した  
組成調査の様子

### 組成調査の結果



- 食品ロス以外の厨芥類
- 食品ロス
- 厨芥類以外の可燃ごみ

## 研究会に参加したきっかけ

**岡山** 思い起こせば、2年ぐらい前に、荒川区から、ナッジ研究をしたいと、ご連絡をいただきました。当時、私と渡辺先生と一緒に関わっていた環境省の家庭における食品ロス削減に関する研究が終了年度を迎えていた時期であり、また、行政の施策に関していえば、普及啓発策には限界があるのではないかというのを強く感じていた頃でした。

**渡辺** 啓発で本当に行動変容が起きるのかという疑問があって、何か別のことを考えなきゃいけないというタイミングでもありました。

**岡山** また、ナッジ的な仕組みがあれば、食品ロスに関心のない人でも食品ロスを減らすことができるのではないかと感じていたので、そういう意味では、特別区と相思相愛で始まったプロジェクトです。かつ、世間的、社会的にも先陣を切るというか、非常に意義が深いものであったというふうに考えております。

**宮崎** 食品ロス削減推進法が制定され、荒川区でも「食品ロスの削減」は大切と考えて「荒川もったいない大作戦」と銘打って、事業展開をしていましたが、啓発事業が主体であり、関心がない区民にどうやって情報を届けるかというのが区としての大きな課題だと感じていました。ここに少し行き詰まりを感じており、是非とも学識経験者のご意見もいただけたらという思いで、お願いさせていただいた次第です。

**黒河内** そもそも、私が今担当しているのが、一般廃棄物の処理業者の許可など、正直、守備範囲外だったのですが、実際うちの区がこういった施策を実施しているのかというところを調べたら、家庭系はやっぱり啓発がメインなので、食品ロスの量というのもやっぱり減り方としてはすごく緩やかで、2030年までの削減の目標はあるけれども、今のペースでいくとちょっと難しいなと思いつつ、研究会に参加させていただきました。



## 食ロス研究会とは

「食ロス研究会」とは、令和3年度の研究プロジェクトのひとつで、「食品ロス削減に向けたナッジをはじめとする行動変容策」というテーマの調査研究を行いました。

## Q ナッジってなに?

⇒ 答えは裏表紙に!

業務支援  
ダイナックス都市環境  
研究所主任研究員  
北坂 容子

研究員  
足立区環境部  
ごみ減量推進課業務係長  
黒河内 祐子

副リーダー  
帝京大学文学部  
社会学科教授  
渡辺浩平

リーダー  
大正大学  
地域創生学部教授  
岡山 朋子



研究会で印象に残っていること

**宮崎** 研究会の皆さんに荒川区の施設に来て頂き、実際にごみの分別状況を調べた組成調査ですね。

**渡辺** 作業場所の条件としては、私の経験の中では良いほうで、ごみを開いて分けるなんて作業させてくれるという場所は、都会にはなかなかないので。

**岡山** 我々大変欲張りなので、本当はナッジの研究をするからには、それをどこかで試してもらって、その前後で組成の実態調査をやって、減ったことが実証されるという実証実験をやりたくて仕方がなかったのです。それを証明してなんぼというところはあるのですが、1年間ではなかなか難しい。

**北坂** 組成調査に関して言えば今回、研究会の皆さんに現場を見ていただくことができ、如何に未利用食品が多いかなどの食ロスの現状を実感、体感いただけたということです。

研究会に参加してみた

**宮崎** まず、専門家の先生方と相談をしながらできるというのはとても大きいと思いました。また、研究会の中で、全体を俯瞰した考え方をすることができたことも自分の中ではすごく大きかったなと。

**黒河内** 正直、全然事前準備とかも何もなくて、いきなりここに飛び込ませいただきましたけど、すごく勉強になりました。

**北坂** 研究会のメンバーがとても熱心で、皆さんとともに作り上げることが出来ました。

**渡辺** 食品ロス削減のナッジというのは、学術的にも非常に先進的なことで、意義深い研究ができたと考えております。多分このテーマに限らず、今回、区の職員さんの発想で出てきたものというのは、学術的に見ても、非常に新しくて意義の深いことは多いのかなと思います。

**岡山** 何か実際に役に立つ、政策に貢献する研究を私自身はしたいと思っています、それがやっぱり行政が行う研究としてはすごくフィットしていたと自分では思っています。また、実際の政策に反映していただいたということが、私の中ですごく嬉しいですし、貢献できたということが実感できたというのがすばらしい研究会だったなと思っています。

コラム2  
研究会の成果の活用事例



研究会でナッジ案の実証実験



荒川区では、『食ロス削減！マグネットシート』を製作

提案区  
荒川区清掃リサイクル  
推進課啓発指導係主任  
宮崎 幸子

荒川区清掃リサイクル  
推進課啓発指導係主事  
岡本 成



コラム3  
研究会の成果を学会で発表



令和4年9月の廃棄物資源循環学会の年会で、リーダーの岡山先生、副リーダーの渡辺先生、業務支援の北坂氏の連名で発表されました。

**渡辺** 「食品ロス削減に有効なナッジ策の検討」というタイトルで、我々はナッジに着目して、現場の区の担当者の方々の議論の下で提案できたということで、このような研究過程は学者の間でもあまりないことなので、興味深く聞いてもらえたと思いますね。

## ❖ 令和5年度の調査研究テーマ

特別区長会調査研究機構では、令和5年度は6テーマについて、調査研究を行います。  
テーマ名と研究の目的を紹介します。

### テーマ

帰宅困難者対策における初動対応体制の  
確立に向けた取組み

### 提案区

港区

### 参加区

港区、千代田区、中央区、文京区、台東  
区、墨田区、品川区、目黒区、渋谷区、  
足立区

### テーマ

水素を中心としたクリーンエネルギーの  
利活用推進

### 提案区

大田区

### 参加区

大田区、中央区、世田谷区、江戸川区、  
東京二十三区清掃一部事務組合

### テーマ

特別区における女性を取り巻く状況と  
自治体支援の方策

### 提案区

世田谷区

### 参加区

世田谷区、文京区、豊島区、荒川区

### テーマ

複式簿記・発生主義会計に基づく財務  
書類の活用策

### 提案区

中野区

### 参加区

中野区、品川区、世田谷区、杉並区

### テーマ

少子化の傾向が顕著な特別区で有効な  
少子化対策

### 提案区

葛飾区

### 参加区

葛飾区、港区、江戸川区

### テーマ

特別区におけるCO<sub>2</sub>の地産地消に向けて  
～清掃工場のCO<sub>2</sub>分離・活用と23区の役割～

### 提案区

東京二十三区清掃一部事務組合

### 参加区

東京二十三区清掃一部事務組合、新宿  
区、大田区、足立区、葛飾区



## 特別区長会調査研究機構とは

### 設置目的

平成30年6月15日、特別区長会は、特別区及び地方行政に関わる課題について、大学その他の研究機関、国及び地方自治体と連携して調査研究を行うことにより、特別区長会における諸課題の検討に資するとともに、特別区の発信力を高めることを目的として、「特別区長会調査研究機構」（以下「機構」という。）を設置しました。

平成31年4月から、広く特別区の行政運営に資する課題等について調査研究を行っています。

### 組織

#### ● 理事会

令和4年7月末現在

理事長	山崎 孝明 (特別区長会会長・江東区長)
副理事長	武井 雅昭 (特別区長会副会長・港区長)
	成澤 廣修 (特別区長会副会長・文京区長)
理事	樋口 高顕 (千代田区長)
	服部 征夫 (台東区長)
	青木 英二 (目黒区長)
	坂本 健 (板橋区長)
	青木 克徳 (葛飾区長)
常務理事	入澤 幸 (知識経験者)

#### ● 顧問

令和4年7月末現在

神野 直彦 (東京大学名誉教授)
大森 彌 (東京大学名誉教授)
広井 良典 (京都大学教授)
市川 宏雄 (明治大学名誉教授)
藁谷 友紀 (早稲田大学教授)
宮本みち子 (放送大学／千葉大学名誉教授)
清原 慶子 (杏林大学客員教授、ルーテル学院大学客員教授 (前三鷹市長))
高橋 行憲 (社会福祉法人馬島福社会理事長、株式会社A・Y・Aホールディングス代表取締役)
青山 侑 (明治大学名誉教授)
矢田 美英 (元特別区長会会長 (前中央区長))
多田 正見 (元特別区長会会長 (前江戸川区長))

### 事業

#### ● 事業の方針

- 機構独自の調査研究活動のほか、各区、他自治体、大学その他の研究機関、研究者等から調査研究テーマの提案を募集し、機構の研究テーマとした課題について、機構が事務局となり、提案者と機構の職員・研究者、各区の参加希望者等をメンバーとして共同の調査研究を行う。
- 機構発の提案等について、広く公表するほか、事業化する特別区等に対して事業立ち上げの支援を行う。
- 特別区の行政運営に関連する事項について機構に寄せられた提案、先進的な調査研究成果や事業の取り組み事例等、機構の業務に関連する情報をホームページ上に掲載する。
- 調査研究に当たっては、全国の自治体との連携に留意する。

#### 1 令和4年度調査研究事業

各区から提案のあった研究テーマについて、基本1年間の調査研究を行う。調査研究は、プロジェクト方式により、学識経験者、各区職員、その他関係者の参加を得て進める。あわせて、次年度の調査研究に向けて、テーマの選定及び研究プロジェクト体制の構築等を行う。

#### 2 令和4年度情報収集・発信事業

各研究プロジェクトの進捗状況や調査研究の成果は、随時ホームページや本機関紙に掲載して公表する。

- ホームページの運用管理
- 機関紙の発行 (年2回)



Kuchokai  
Institute for Research and Study

## 特別区長会調査研究機構

事務局 公益財団法人 特別区協議会

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-5-1

(公益財団法人特別区協議会内)

TEL 03-5210-9053 FAX 03-5210-9873



## A 『ナッジ』とは

「肘で軽く突く」という意味の英語で、人々が強制によってではなく、自発的に望ましい行動を選択するように促す仕掛けや手法のことです。

身の回りにもいろんなナッジがあるよ!

- ▶ レジでの足跡マーク  
⇒ 整列への意識付け
- ▶ 食品へのカロリー表示  
⇒ 摂取カロリーの減少
- ▶ 商品の配置変更  
⇒ 商品の存在を意識させ  
購買意欲を高める



特別区長会調査研究機構

YouTube 公式チャンネル

調査研究報告会  
動画配信中!



YouTube 特別区長会調査研究機構

検索

▶ <https://www.youtube.com/channel/UCIvSEdZwc-gXWmdSGF40FaA>



リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

ホームページ <https://www.tokyo23-kuchokai-kiko.jp>

パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます。

特別区長会調査研究機構

検索

